

高等学校商業科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
1	1 従来は手元のコンピュータで管理又は利用していたソフトウェアやデータなどを、インターネットなどのネットワークを通じて、サービスの形で必要に応じて利用する情報サービス。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
	2 ・リデュース（廃棄物の発生抑制） ・リユース（再使用） ・リサイクル（再資源化）	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。 3つとも合っているものだけを正答とする。	5
	3 二酸化炭素排出量が多い自動車輸送から、環境負荷の小さい鉄道や船舶による輸送に切り替える取組。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
	4 「心からのおもてなし」「思いやり」という「もてなし精神」を意味する言葉で、企業のビジネス活動の中で、商品やサービスを提供する際に、人々に満足してもらうこと。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
	5 (1) 14,127,482 [円] (2) 兵庫電機 [株式会社] 7,040,000 [円]		5 5
2	1 単に利益だけを優先するのではなく、企業活動が社会に及ぼす影響などに責任をもちながら、様々な経営資源を最適に組み合わせるとともに、他者とコミュニケーションを図るなどして、生産者、消費者などをつなぎ、地域産業をはじめ経済社会が健全で持続的に発展するよう、組織の一員としての役割を果たす資質・能力。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
	2 小売業に関する仕入れと販売の取引や、コンピュータを活用した経営のシミュレーションなどを取り入れる学習活動。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
3	1 マーケット・インは、あらかじめ顧客のニーズを読み取って製品を作り出した方が効率がよいという考え方であるのに対して、プロダクト・アウトは、顧客のニーズを考慮せず、単純に作り出したものを販売するという考え方。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
	2 企業が製品の売上高の一部を寄付するなど、社会的に意義のある活動を行う手法。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
	3 A 車		5
	4 商品が同じ高さに置かれている場合には、左側よりも右側に陳列してある商品の方が、顧客からの視認性が高くなるという法則。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
4	1 観光地等の渋滞緩和や地域環境改善等のため、自宅から最寄りの駅や停留所、目的地の手前まで自動車で行き、そこから公共交通機関を利用して目的地まで移動する方法。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
	2 瀬戸内海の島しょ部に位置する直島において、地域の自然や地域固有の文化の中に、古い家屋を改修した作品や、屋外彫刻を置くことに加え、「地中美術館」などの特別な場所を生み出したり、「瀬戸内国際芸術祭」を開催したりするなど、地域独自の魅力を掘り起こして内外の人々に向けて発信する活動。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	15

高等学校商業科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
5	1 建物と建具は、主物と従物の関係にある。従物は、主物の処分に従うことが民法によって定められている。したがって、乙は、甲に対して、主物である建物が売られると、これによってもなって従物である建具も売られることになるという。ことを主張する。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
	2 イ		5
	3 コーポレート・ガバナンス	企業統治 もよい。	5
6	1 (1) 1,022,360,000 [円]		5
	(2) 699,210,000 [円]		5
	2 (1) 3,300,000 [円]		5
	(2) 3,000,000 [円]		5
	(3) 2,400,000 [円]		5
	7	1 イ	
2	(1) 6 [日]		5
	(2) ウ		5
3	(1) カ		5
	(2) ア		5
	(3) ウ		5
	(4) キ		5

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]			採 点 上 の 注 意	配 点	
	過程	学習活動	指導上の留意点 (◆努力を要する状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)		
8	導入	<ul style="list-style-type: none"> ○本単元で学習するビジネスモデルの構築に向けた流れについて、確認する。 ○前時に個人のワークシートにまとめたA市の現状・課題について、再確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスの創造や授業の目的・意義について理解させる。 ○身近な社会課題に取り組むことが、社会全体の価値の創造につながるということを意識させる。 			
	展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ビジネスアイデアを考案する。(個人及びグループワーク) <ul style="list-style-type: none"> ・前時のワークシートを基に、個人でビジネスアイデアを考案する。 ・個人で調べた情報と、その情報を基に考案したビジネスアイデアを出し合い、グループで情報共有を行う。 ・デジタルホワイトボードを用いてグループでSWOT分析を行い、A市の現状・課題を整理した上で、グループで取り扱うビジネスアイデアを決定する。 ○ビジネスプランを作成する。(グループワーク) <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスアイデアの実現に向けて、ビジネスプランを作成する。 ○ビジネスモデルを構築する。(グループワーク) <ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスアイデアの実現に向けて必要な資源を整理し、ビジネスモデルを構築する。 ○発表に向けて資料を作成する。(グループワーク) <ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーション作成ツールを用いて、発表用資料を作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時に実践するビジネスモデル構築に向けた取組内容を、個人のワークシートにも記入しながら演習を行うように指示する。 ◆ビジネスプランの作成が進まないグループには、前時までの学習内容を想起させ、ビジネスアイデアを5W1Hで整理することを助言する。 ○ビジネスモデルの構築に向けて、人的資源・物的資源・財務的資源・情動的資源について整理するように指示する。 ○発表用資料の作成に当たっては、グループ内での役割分担を決めて取り組むように指示する。 	自ら課題を設定し、有効な解決策であるビジネスモデルを構築している。 (ワークシート)	問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	20
	まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の授業を振り返り、個人のワークシートに記入する。 ○次時の学習内容について説明を受ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の学習を通して学んだことを個人のワークシートに記入するように指示する。 ○次時の発表に向けてシナリオを考えておくように助言する。 			